

《第22号》 *** 図書と雑誌の違い ***

学術資料として、「本」「文献」などとひとまとめに表現されることの多い図書と雑誌ですが、違いや特徴を知り、検索をスムーズに行うために、両者を比較してみます。

まず、図書は、ある程度の分量を持って単独で発行され、1人または複数の著者や编者によって書かれた1冊完結の出版形態をとります。内容は、現時点で評価の定まっていることを系統的にまとめたものなので、定説的な知識を得るのに適しています。シリーズで出版される大系・全書類も、上記の特徴から図書になります。雑誌は、同じタイトルで定期的に継続して発行されるため巻号がついており、大概是複数の著者による記事や論文を含んでいます。図書に比べて速報性があり、タイムリーな話題や最新の知見を得るのに適しています。

両者を見分けるコツとして、図書にはISBN(10桁)、雑誌にはISSN(8桁)という国際標準番号が付与されていること、参考文献欄で巻号の表示があれば雑誌、版・出版社・出版地などの記載があれば図書、などが挙げられます。例外として、テキスト的な内容の臨時増刊号や別冊、Mook類、発行頻度が低い年刊誌、厚生労働省の報告書やモノグラフなどは、扱いが図書となることもあります。例えば、『厚生指標』の臨時増刊として発行される「国民衛生の動向」は、本館では雑誌、分館では図書として配架しています。

探し方は、図書の場合、目録類を使って書名の一部や著者名などから検索したり、分類からその分野の書架を直接見たり、また“Webcat Plus”というサイトを使うと、思いついた用語やフレーズから本探しをすることができます(<http://webcatplus.nii.ac.jp/>)。雑誌の場合、個々の論文を検索する時は、医中誌・Medline等の文献データベースや索引誌を使い、主題や著者名、キーワードから探すことができます。ヒットした図書や雑誌の所蔵を確認する時にはOPACを使います。図書館ホームページでは「新着資料案内(<http://www.lib.iwate-med.ac.jp/siryuan.html>)」において、本学で受け入れた図書と雑誌の特集記事を掲載し、定期的に更新していますので、こちらをご参照ください。

*** 図書館トリビア ***

本学図書館には「第1回医師国家試験模範解答集」(昭和21年)があります。第1回から第4回が合綴され1冊となっており、昭和23年に日本臨床社から発行されています。第1問は「腹腔動脈の枝別及び分布を記せ。」とあります。ちなみに現在は当館の選書基準により国試対策本や問題集は受入していません。

メールマガジンに関する意見・質問は、運用係 unyo@lib.iwate-med.ac.jp まで。